

なみおと

季刊

森国久顕彰会

〒860 0084
熊本市北区 山室681
Tel/Fax
096-295-0882

近代文化功労者

顕彰式開催される

昨年の11月17日13時からは、30年度の「熊本県近代文化功労者顕彰式」が、熊本市水道町にある鶴屋東館の10階、「熊本県民交流館パレア」において開催され、これには田嶋徹熊本県副知事、宮尾千加子熊本県教育長をはじめ、百数十名の関係者が出席された。今回の顕彰対象者は本会が顕彰事業をすすめている森国久氏(故人)のほか、吉丸良治氏、北野隆海達公子氏(故人)の三名、合わせて四名の方々です。主催者側を代表して熊本県教育長の宮



尾千加子氏は、「今年度中に四氏の功

績集を作成し、県内の小中学校、大学、図書館へ配布するので活用していただきたい」と挨拶のなかで述べられました。

随想

昭和5年

『みくに』や『天草民報』等には、彼の投稿記事や、彼が取材を受けた記事を数多く見出すことができます。

(1930年)に学校を卒業した森国久の最初の仕事は新聞記者でした。そのような彼が戦後、樋島村長に就任したとき、いち早く村の公民館報を発行し始めたのです。その後、全天草の政治的統合を旨とした彼は、天草地方で発行されていた地方紙に関する心を寄せ、全天草島民をつなぐ言論媒体、民主主義に必須の道具としてそれらを重視していました。

森国久についての新聞

率をよくないけれども、新聞は必須の手段である。そのことを森国久から学ぶことができるように思われます。

(田口宏昭)



明けましておめでとうございます。本会に対する旧年中の皆さまのご協力とご支援に、深く感謝申し上げますとともに、新しい一年の門出にあたり、決意も新たにしております。

さて、顕彰会の昨年の活動を振り返りますと、1月に本会の会報『なみおと』(季刊)を創刊し、4月には銅像建立委員会を結成しました。さらに6月に『大いなる遺産』の冊子を刊行し、

謹賀新年

9月には熊本機能病院において写真展「天草の橋と海」を開催しました。また、10月には熊本県近代文化功労者に森国久が顕彰され、顕彰会の活動も広がりをもつようになって参りました。これらの着実な歩みは、ひとえに皆様のお力添えの賜であります。

今年も、銅像建立に向けて役員一同引きつづき邁進する所存です。本年もどうぞ協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

森国久顕彰会役員

顧問	大西一史	崎元達郎
	田嶋章二	中村五木
	中山峰男	堀江隆臣
	山田清和	
会長・理事長	米満弘之	
副会長・理事	田口宏昭	原田信輔
	安田公寛	山口久
	米満弘一郎	
理事	尾上一久	
監事	江浦誠	

銅像建立委員会役員

委員長	米満弘之	
副委員長	田口宏昭	原田信輔
	安田公寛	山口久
	米満弘一郎	
委員	尾上一久	富田善三郎
	千原光明	中川竹治
監事	江浦誠	